

【高齢者の現状 2 2】

東海社会福祉科学研究所

大北 秀雄

3 高齢者が生きる

(5) 危機管理①

毎日毎日を自然の状態でも長く続けて生活することは、簡単なようで難しい課題ですが、どうしても負けて生活することはできないので、どう毎日を生きていくかを整理し、環境等に合わせた生活を考え、毎日を楽しく生きていくことを心がけ、前に向かって進んでいくしかないことです。

台風、地震などの自然災害は何時起きても止むを得ない状況がありますし、また交通事故、火事などに何時巻き込まれるかも予想の付かない時代ですから、毎日の生活、その瞬間の生活などを自然に考えてしまうこともある時代でもあります。生きていることの無力さを感じることもある時代でもありますが、一方生きている素晴らしさを感じる時代でもあります。

過去に経験したことのない時代ですが、それでも毎日生きていることを強く感じながら生活をするための素晴らしさを大切にすることが大事です。他の国では今でも民族戦争、内戦などの問題が続いていますし、また発生していますので生きることの難しさが感じられます。

多くの発展途上国などで見受けられる貧困問題を見て、多くの方は悲しみを感ずることだと思います。一日一日を何気なく生活できることは、非常に素晴らしい時間を過ごしていることになるのかもしれませんが、そこには落とし穴があるのではないかと思います。生きるために何をし、何を考え、何を信じて生活をしているのかを明確にすることが求められているのではないのでしょうか。

一度知った蜜はなかなか忘れられないと言われていて、苦しいと感じたことは二度と体験したくないと考えて生活している人は多いと思います。今時分の置かれている状況を確認し、そこにおける問題点を整理し、何を目指し、そのために課題を持って生活しているのかを感じられる人は何人いることでしょうか。多くの方はある程度判っていても明確にすることはしないし、問題点・課題も何となく感じながら生活していることが多いと思います。

台風、地震などの自然災害が大きい場合や交通事故、火事などが身近で起こると、今の生活がどうなのかを考えはしますが、その問題・課題などについてどう自分の将来を位置づけし、これからどう生活することが大切なのかを見つめ、どう行動することが必要なのかを整理し、家族等で話し合うことが求められています。